

大学院学則第12条第9号〔入学資格の弾力化〕に係る審査基準及びその他学術院が必要と認める書類について

事 項 学術院 研究群	審 査 基 準	そ の 他 学 術 院 が 必 要 と 認 め る 書 類	備 考
理工情報生命学術院 生命地球科学研究群			
生物学学位プログラム	提出書類、特に小論文によって大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを総合的に判断する。	出願者調書の研究計画欄に記載した研究課題に関する小論文（4000字程度）	
生物資源科学学位プログラム	提出書類、特に小論文によって、大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを総合的に判定する。	出願者調書の「(2)研究計画」欄に記入した研究課題に関する小論文(2000字程度)	
地球科学学位プログラム	提出書類、特に小論文によって大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを総合的に判断する。	研究課題に関する小論文（2000字程度）	
環境科学学位プログラム	学業成績その他の提出書類を総合的に判断し、大学を卒業した者と同等以上の学力に達しているかを判定する。	研究課題に関する小論文（2000字程度）	
山岳科学学位プログラム	提出書類、特に小論文によって大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを総合的に判断する。	研究課題に関する小論文（2000字程度）	
ライフイノベーション（食料革新）学位プログラム	提出書類に基づき総合的に審査し、大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを判定する。	推薦書（これまでの経歴・活動が出願資格のあることを裏づけるもの。様式任意）	
ライフイノベーション（環境制御）学位プログラム	提出書類に基づき総合的に審査し、大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを判定する。	推薦書（これまでの経歴・活動が出願資格のあることを裏づけるもの。様式任意）	
ライフイノベーション（生体分子材料）学位プログラム	提出書類に基づき総合的に審査し、大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを判定する。	推薦書（これまでの経歴・活動が出願資格のあることを裏づけるもの。様式任意）	

博士前期課程 [個別審査]

大学院学則第12条第10号 大学3年次生の大学院入学試験に係る出願・入学の条件等について

事 項 大学院 研究群	出 願 の 条 件	入 学 の 条 件
理工情報生命学術院 生命地球科学研究群		
生物学学位プログラム	(1) 出願年度3月末において、大学在学期間が3年に達すること。 (2) 学類長（または、教室主任などこれに相当する教員）、及びクラス担任（または、出願者の学習状況を良く知っている教員）の推薦状を提出すること。	(1) 3年次修了時点で、120単位以上を修得していること。 (2) 3年次修了までに単位を修得した科目の85%以上がAまたはそれに相当する成績であること。 (3) 1年次から3年次修了までの学業成績証明書を提出すること。
生物資源科学学位プログラム	(1) 出願年度3月末日において、大学在学期間が3年間に達すること。 (2) 3年次修了までに120単位以上修得することが見込まれること。 (3) 3年次修了時の全修得単位の90%以上が、「A+・A・B」、又はそれに相当する成績であることが見込まれること。	(1) 3年次修了時点で、120単位以上を修得していること。 (2) 3年次修了までに単位を修得した科目の90%以上が「A+・A・B」又はそれに相当する成績であること。 (3) 1年次から3年次修了までの学業成績証明書を提出すること。
地球科学学位プログラム	(1) 出願年度3月末において、大学在学期間が3年に達すること。 (2) 8000字以上の自筆の研究計画書（引用文献のリストを含む。）と1,000語程度の英文要旨（A4判用紙にタイプしたもの）を提出すること。 (3) 指導教員の推薦状（2,000字程度）を提出すること。	(1) 出願年度3月における学業成績証明書を提出すること。 (2) 3年次修了までに専攻する専門科目60単位以上を修得していること。
環境科学学位プログラム	(1) 出願年度3月末日において、大学在学期間が3年間に達すること。休学及び留年は、在学期間に算入しない。 (2) 3年次修了の時点において、大学卒業に要する単位から4年次における必修単位を差し引いた単位（およそ120単位）を修得見込みであること。 (3) 3年次修了時点で修得した単位の80%以上が在学する大学の学業成績の評価の最高点（A+、A、優など）であることが見込まれること。 (4) 出願の際に、①3年次在学証明書②成績証明書③3年次履修申告④当該大学卒業要件規約書を提出すること。	(1) 3年次修了の時点までに、大学卒業に要する単位から4年次における必修単位を差し引いた単位（およそ120単位）を修得していること。 (2) 3年次修了時までに修得した単位の80%以上が在学する大学の学業成績の評価の最高点（A+、A、優など）であること。

山岳科学学位プログラム	<p>(1) 出願年度3月末日において、大学在学期間が3年間に達すること。                  (2) 3年次修了までに120単位以上修得することが見込まれること。                  (3) 学類長（又は、教室主任などこれに相当する教員）、及びクラス担任（又は、出願者の学習状況を良く知っている教員）の推薦状を提出すること。</p>	<p>(1) 3年次修了時点で、120単位以上を修得していること。                  (2) 3年次修了までに単位を修得した科目の85%以上がA又はそれに相当する成績であること。                  (3) 1年次から3年次修了までの学業成績証明書を提出すること。</p>
ライフィノベーション（食料革新）学位プログラム	<p>(1) 出願年度3月末日において、大学在学期間が3年間に達すること。                  (2) 3年次修了までに90単位以上修得し、かつ、単位を修得した科目の85%以上が学業成績における評価の最高ランクにあることが見込まれること。</p>	<p>(1) 大学3年次修了時の成績が出願の条件(2)の基準を下回るときは、入学を認めないことがある。                  (2) 大学3年次修了時における出願の条件(2)を充足する学業成績証明書を提出すること。</p>
ライフィノベーション（環境制御）学位プログラム	<p>(1) 出願年度3月末日において、大学在学期間が3年間に達すること。                  (2) 3年次修了までに90単位以上修得し、かつ、単位を修得した科目の85%以上が学業成績における評価の最高ランクにあることが見込まれること。</p>	<p>(1) 大学3年次修了時の成績が出願の条件(2)の基準を下回るときは、入学を認めないことがある。                  (2) 大学3年次修了時における出願の条件(2)を充足する学業成績証明書を提出すること。</p>
ライフィノベーション（生体分子材料）学位プログラム	<p>(1) 出願年度3月末日において、大学在学期間が3年間に達すること。                  (2) 3年次修了までに90単位以上修得し、かつ、単位を修得した科目の85%以上が学業成績における評価の最高ランクにあることが見込まれること。</p>	<p>(1) 大学3年次修了時の成績が出願の条件(2)の基準を下回るときは、入学を認めないことがある。                  (2) 大学3年次修了時における出願の条件(2)を充足する学業成績証明書を提出すること。</p>

博士前期課程 [飛び級]

- 注意事項 ① 出願年度3月において、上記の条件が満たされない場合は、入学できません。  
 ライフィノベーション（食料革新）学位プログラム、ライフィノベーション（環境制御）学位プログラム、ライフィノベーション（生体分子材料）学位プログラムにおいては、上記の条件が満たされない場合、入学を認めないことがあります。
- ② この制度により、大学院へ入学した場合は、大学3年中途退学となるため、大学の学部（学群）を卒業していることを要件とする国家試験等の資格試験の受験はできなくなります。

大学院学則第12条第11号

外国において学校教育における15年の課程を修了し、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、又は文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者の大学院入学試験に係る出願・入学の条件等について

事 項	1. 必要な科目と単位数 2. 単位の換算方法 (1) 成績証明書等に基づく換算方法 (2) 成績証明書等が提出できない場合 3. 学術院で定める提出書類 4. そ の 他	備 考
学術院 研究群		
理工情報生命学術院 生命地球科学研究群		
生物学学位プログラム	入学希望者があった場合、委員会を組織し、入学希望者の単位等に関して検討し、教育会議で入学資格があるか、否かについて最終的に認定する。	
生物資源科学学位プログラム	入学希望者があった場合、委員会を組織し、入学希望者の単位等に関して検討し、教育会議で、入学資格があるか否かについて最終的に認定する。	
地球科学学位プログラム	1. 外国において正規の大学を卒業した者、又は希望する入学年月までに卒業見込みの者 2. (1) 1の理由により、本学の単位として換算する必要はない。 (2) 成績証明書等が提出されない場合は、原則として大学院入学資格はなしとする。ただし、特別の考慮が必要な場合には、教育会議において別途協議する。 3. なし。 4. なし。	
環境科学学位プログラム	入学希望者があった場合、委員会を組織し、入学希望者の単位等に関して検討し、教育会議で、入学資格があるか否かについて最終的に認定する。	
山岳科学学位プログラム	入学希望者があった場合、委員会を組織し、入学希望者の単位等に関して検討し、教育会議で、入学資格があるか否かについて最終的に認定する。	

ライフイノベーション（食料革新）学位プログラム	1. 90単位 2. (1) 独立行政法人日本学生支援機構等が使用する3点満点のGPA換算で2.1以上 (2) 原則として認めない。 3. TOEFL等の英語力証明書 4. なし。	
ライフイノベーション（環境制御）学位プログラム	1. 90単位 2. (1) 独立行政法人日本学生支援機構等が使用する3点満点のGPA換算で2.1以上 (2) 原則として認めない。 3. TOEFL等の英語力証明書 4. なし。	
ライフイノベーション（生体分子材料）学位プログラム	1. 90単位 2. (1) 独立行政法人日本学生支援機構等が使用する3点満点のGPA換算で2.1以上 (2) 原則として認めない。 3. TOEFL等の英語力証明書 4. なし。	

博士前期課程 [外国15年・外国通信教育15年・文部科学大臣指定当該課程]

大学院学則第12条第12号

学校教育法施行規則第155条第1項第7号の規定により大学院に入学した者をその後に入学者させる本学の大学院において、教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者の大学院入学試験に係る出願・入学の条件及びその他学術院が必要と認める書類について

<div style="text-align: center;">事 項</div> 学術院 研究群	審 査 基 準	そ の 他 学 術 院 が 必 要 と 認 め る 書 類	備 考
理工情報生命学術院 生命地球科学研究群			
生物学学位プログラム	提出書類、特に小論文によって大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを総合的に判断する。	出願者調書の研究計画欄に記載した研究課題に関する小論文(4000字程度)	
生物資源科学学位プログラム	提出書類、特に小論文によって、大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを総合的に判定する。	出願者調書の「(2)研究計画」欄に記入した研究課題に関する小論文(2000字程度)	
地球科学学位プログラム	提出書類、特に小論文によって大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを総合的に判断する。	研究課題に関する小論文(2000字程度)	
環境科学学位プログラム	学業成績その他の提出書類を総合的に判断し、大学を卒業した者と同等以上の学力に達しているかを判定する。	研究課題に関する小論文(2000字程度)	
山岳科学学位プログラム	提出書類、特に小論文によって、大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを総合的に判定する。	出願者調書の研究計画欄に記入した研究課題に関する小論文(2000字程度)	
ライフイノベーション(食料革新)学位プログラム	提出書類に基づき総合的に審査し、大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを判定する。	推薦書(これまでの経歴・活動が出願資格のあることを裏づけるもの。様式任意)	
ライフイノベーション(環境制御)学位プログラム	提出書類に基づき総合的に審査し、大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを判定する。	推薦書(これまでの経歴・活動が出願資格のあることを裏づけるもの。様式任意)	
ライフイノベーション(生体分子材料)学位プログラム	提出書類に基づき総合的に審査し、大学を卒業した者と同等以上の学力があるかを判定する。	推薦書(これまでの経歴・活動が出願資格のあることを裏づけるもの。様式任意)	

博士前期課程 [他大学院飛び級入学]

大学院学則第14条第8号

学校教育法施行規則第156条第6号の規定により、大学院への入学に関し、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者として文部科学大臣が指定した者に係る審査基準及びその他大学院が必要と認める書類について

<div style="text-align: right;">事項</div> 大学院 研究群	審 査 基 準	そ の 他 学 術 院 が 必 要 と 認 め る 書 類	備 考
理工情報生命大学院 生命地球科学研究群			
生物学学位プログラム	執筆論文・著書などが博士前期課程（修士課程）レベルに達しているか判定する。	修士論文に準ずる論文	
農学学位プログラム	研究及び社会活動等の内容が理解できる書類について審査し、修士課程を修了した者と同等以上の学力があるか総合的に判定する。	修士論文に準ずる論文	
生命農学学位プログラム	研究及び社会活動等の内容が理解できる書類について審査し、修士課程を修了した者と同等以上の学力があるか総合的に判定する。	修士論文に準ずる論文	
生命産業科学学位プログラム	研究及び社会活動等の内容が理解できる書類について審査し、修士課程を修了した者と同等以上の学力があるか総合的に判定する。	修士論文に準ずる論文	
地球科学学位プログラム	執筆論文・著書等が修士課程レベルに達しているか判定する。	修士論文に準ずる論文	
環境学学位プログラム	研究及び社会活動等の内容が理解できる書類について審査し、修士課程を修了した者と同等以上の学力があるか総合的に判断する。	研究課題に関する小論文（4000字程度） 修士論文に準ずる論文	
ライフイノベーション（食料革新）学位プログラム	提出書類に基づき総合的に審査し、本学博士前期課程を修了した者と同等以上の学力があるかを判定する。	推薦書（これまでの経歴・活動が出願資格のあることを裏づけるもの。様式任意）	

ライフイノベーション（環境制御）学位プログラム	提出書類に基づき総合的に審査し、本学博士前期課程を修了した者と同等以上の学力があるかを判定する。	推薦書（これまでの経歴・活動が出願資格のあることを裏づけるもの。様式任意）	
ライフイノベーション（生体分子材料）学位プログラム	提出書類に基づき総合的に審査し、本学博士前期課程を修了した者と同等以上の学力があるかを判定する。	推薦書（これまでの経歴・活動が出願資格のあることを裏づけるもの。様式任意）	

博士後期課程 [文部科学大臣指定]



## 大学院学則第14条第9号〔入学資格の弾力化〕に係る審査基準及びその他学術院が必要と認める書類について

学術院 研究群	事項	審査基準	その他学術院が必要と認める書類	備考
理工情報生命学術院 生命地球科学研究群				
生物学学位プログラム		執筆論文・著書などが博士前期課程（修士課程）レベルに達しているか判定する。	修士論文に準ずる論文	
農学学位プログラム		研究及び社会活動等の内容が理解できる書類について審査し、修士課程を修了した者と同等以上の学力があるか総合的に判定する。	修士論文に準ずる論文	
生命農学学位プログラム		研究及び社会活動等の内容が理解できる書類について審査し、修士課程を修了した者と同等以上の学力があるか総合的に判定する。	修士論文に準ずる論文	
生命産業科学学位プログラム		研究及び社会活動等の内容が理解できる書類について審査し、修士課程を修了した者と同等以上の学力があるか総合的に判定する。	修士論文に準ずる論文	
地球科学学位プログラム		執筆論文・著書等が修士課程レベルに達しているか判定する。	修士論文に準ずる論文	
環境学学位プログラム		研究及び社会活動等の内容が理解できる書類について審査し、修士課程を修了した者と同等以上の学力があるか総合的に判断する。	研究課題に関する小論文（4000字程度） 修士論文に準ずる論文	
ライフイノベーション（食料革新）学位プログラム		提出書類に基づき総合的に審査し、本学博士前期課程を修了した者と同等以上の学力があるかを判定する。	推薦書（これまでの経歴・活動が出願資格のあることを裏づけるもの。様式任意）	

<p>ライフイノベーション（環境制御）学位プログラム</p>	<p>提出書類に基づき総合的に審査し、本学博士前期課程を修了した者と同等以上の学力があるかを判定する。</p>	<p>推薦書（これまでの経歴・活動が出願資格のあることを裏づけるもの。様式任意）</p>	
<p>ライフイノベーション（生体分子材料）学位プログラム</p>	<p>提出書類に基づき総合的に審査し、本学博士前期課程を修了した者と同等以上の学力があるかを判定する。</p>	<p>推薦書（これまでの経歴・活動が出願資格のあることを裏づけるもの。様式任意）</p>	

博士後期課程 [個別審査]